

学校経営指針

令和7年度

荒尾市立荒尾第三中学校

【教育法規等】
○日本国憲法 ○教育基本法
○教育関係法令 ○学習指導要領
○熊本県教育大綱
○くまもと「夢への架け橋」教育プラン
○県教委各課取組の方向等
○熊本の学び推進プラン
○玉名教育事務所指導の重点等
○荒尾市第2期教育振興基本計画
○荒尾市教育委員会学校教育目標及び重点努力事項

校 言川
「自主 創造 協力」
「自主」…自主・自立の精神の涵養 「創造」…スクールプライド「好きです三中」の創造 「協力」…認め励まし支え合いともに伸びゆく学校
※ 熊本の心「助けあい 励ましあい 志高く」 (安永蘿子)

【学校の実態】
○生徒の実態
・成功体験が少なく、集団生活や学習に自信が持てない生徒もあるが、素直で行事等に意欲的に取り組もうと努力する。
○保護者の願い
・思いやりのある素直な子ども
・学力を十分身につけた子ども
・規範意識のある子ども
○地域の実態
・学校に対して協力的である。
・教育に対する関心が高い。
・商店街や娯楽施設があり、交通の往来が多い環境にある。

【くまもとの教職員像】
～「認め ほめ 励まし 伸ばす」くまもとの教職員～
1 教職員としての基本的資質
①教育的愛情と人権感覚
②使命感と向上心
③組織の一員としての自覚
2 教育職員としての専門性
①生徒理解と豊かな心の育成
②学習の実践的指導力
③保護者・地域住民との連携

学 校 教 育 目 標
自立型人間の育成
～仲間とつながる、地域とつながる、未来とつながる～ 心身ともに健全で粘り強く自己実現に向けて努力し、社会的自立の基礎を身につけた自立型人間の育成が、荒尾市教育委員会の基本理念である「郷土を愛し未来を創る あらおの人づくり」につながると考える。そこで、自立型人間の育成のために、すべての教育活動において生徒自ら目標を立て、目標達成のための具体的方法を考え、最後までやりきる習慣をつける。実践を通じ他者と適切な関係性を持つことを学び、互いに高め合う。中学時代は生き方について考える大切な三年間である。教師の影響は非常に大きく、やりがいのある仕事である。人権尊重の精神を基盤とした日々の教育を本気で実践し発信する。生徒の心に「火」をつけ、その「火」のついた生徒が周りの生徒に「火」をつける。それが重なりハーモニーとなつたとき、想像以上の力を發揮することができる。 そのための土台として、仲間とつながり心の居場所づくりに努める。また、地域とつながり、地域の宝である子どもたちを地域と一緒に育てる。そして、日常生活の質の向上に日々取り組み、教育効果の最大化を目指すことで、予測不能な社会をたくましく生き抜いていく力を身に付けさせる（未来とつながる）。最後は、生徒たちが「この学校で学ぶことができて本当によかった。」「この先生に、この友達に出会えて本当によかった。」と言え、さらに職員が「この学校で働けてよかった。」と言える学校にしたい。
くめざす生徒像 ○ 周りとのつながりを大切にする生徒 ○ 三中と荒尾市に誇りを持つ生徒 ○ 自他の幸せを追求し続ける生徒

めざす学校像	重点的に育成をめざす資質・能力	めざす教職員像
<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人一人に心の居場所のある学校 ○ 活気と勢いのある学校 ○ 温かみと潤いのある学校 ○ 信頼される学校 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら心を開き行動する力 ○ 自らの存在を肯定する力 ○ 自ら学び続ける力 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情熱と愛情をもち、最後までやりきらせる指導を実践する教職員 ○ 豊かな人権感覚をもち、温かく公平に接する教職員 ○ 生徒の姿で教育を語る教職員 ○ 三中に集うすべての人の幸せを追求する教職員 ○ 職員十訓を実践する教職員

重点努力目標及び具体的実践事項【合い言葉は「好きです三中】】		
夢を実現する教育		
確かな学力の育成	豊かな心の育成	健康・体力の向上
1 「熊本の学び」の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「進化型あらおベーシック」を基盤にした三中授業スタイルの確実な授業実践 ○ 実態に応じたきめ細かな個別指導の工夫 ○ 学習規律の徹底 ○ タブレット等のICT機器の効果的な活用 ○ 学力向上関係事業の積極的な活用 2 よりよい生活習慣の育成 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら計画を立て学習できる環境づくりの推進 ○ 家庭と連携し、授業と繋がる家庭学習の工夫 3 日本語・英語教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「げんチャレ」等による言語活動の充実及び市立図書館等の活用による読書活動の推進 ○ 国際交流を意識した英語の日常化、校内設営 	1 「自他の命を大切にする心」の醸成 <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめ・不登校・問題行動等の未然防止 2 心の居場所づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 一人にこだわってチームで対応する指導の積極的推進（愛の1・2・3運動+1の実施） ○ 拡大不登校対策委員会での情報共有と実践 3 人権教育、道徳教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○ 年間計画の確実な実施及び日常教育の実践 ○ 「熊本の心」や「つなぐ～熊本の明日へ～」等を活用した授業の確実な実践 4 スクールプライド「好きです三中」の創造 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「挨拶、清掃、服装、時間、話を聴く姿勢、はきものを揃える」の徹底 ○ 「三中タイム」による生徒主体の活動実践 	1 健康で安全な生活習慣の確立 <ul style="list-style-type: none"> ○ 小中連携した取組 ○ 三中版「できたらいいね」の取組の充実 2 夢や感動のある体育活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○ 体育的行事及び保健体育授業の充実 ○ 適正で魅力ある運動部活動の推進 3 健康教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○ 感染症対策の共通理解と共通実践 ○ フッ化物洗口の実施を含む歯科保健指導の充実 4 安全教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○ 危険予測能力の育成及び交通安全教育の実施・充実 ○ 安全管理の徹底と学校防災体制の強化
子どもたちの学びを支える魅力ある学校づくり		
地域とともにある学校づくりの推進	教育環境の充実	教職員の資質向上
1 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進による地域人材の活用 2 生徒会を中心とした地域貢献活動の推進 3 キャリア教育の充実	1 生徒会活動による美しい教育環境づくり 2 整理整頓・無音清掃による学習環境づくり 3 働き方改革による生徒と向き合う時間の確保	1 超過勤務時間削減による教育の質の向上 2 人権感覚と指導力向上に係る研修の充実 3 ICT活用や「話し合い活動」指導力の向上 4 不祥事根絶に向けた学校総体による取組

★人権教育の充実 ～すべての教育活動を通じて、人権意識を高め、部落差別をはじめとするあらゆる差別を許さず、行動する生徒の育成～